

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年3月

計画の名称	5 良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備							重点計画の該当				
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)		交付対象	東京都、江戸川区、墨田区、品川区、北区、葛飾区								
計画の目標	自然環境を保全・創出し、水質の改善を図るとともに、災害時等における利用者の安全を確保しつつ回遊性や連続性を向上させ、水辺の賑わいをより一層創出する。											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路へのアクセス向上やテラスの連続化を図り、利用者の安全を確保するとともに水辺の回遊性を向上させる。 豊かな自然環境を再生し、自然や生き物に人々が触れ合う機会を創出する。 汚泥等の堆積が著しい河川において、重点的なしゅんせつを実施し、水質改善を図る。 災害時に陸上交通網を補完し、帰宅困難者の解消や物資輸送等の道路負担の軽減を担うとともに、平常時にも魅力ある舟運ネットワーク形成する防災船着場を増加させる。 											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
			当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	・定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。						
A I 魅力的な水辺空間の創出 スロープ設置や支川合流部等への橋梁設置により、テラスの不連続箇所が解消された割合 不連続箇所解消率 (%) = (スロープ及び連続化橋の設置済み箇所数) / (要整備箇所数) × 100			0%	42%	100%							
A I 魅力的な水辺空間の創出 豊かな自然の再生により自然や生き物に触れ合う人々の増加数 (人)			400人	500人	600人							
A I 魅力的な水辺空間の創出 しゅんせつにより堆積した汚泥を除去した割合 (%) 汚泥除去達成率 (%) = (汚泥の除去を実施した量 (m3)) / (しゅんせつ計画における汚泥量 (m3)) × 100			23%	46%	87%							
A I 魅力的な水辺空間の創出 災害時に防災船着場へのアクセスが可能となる人口			72万人	78万人	85万人							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,165 百万円	A	1,980 百万円	B	0 百万円	C	185 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	8.54%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東京都内部で事後評価を実施	令和3年2月
	公表の方法
	東京都ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況
交付対象事業

A I 魅力的な水辺空間の創出																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
A08-001	河川	一般	東京都	直接	-	荒川圏域総合流域防災事業（隅田川）	テラス付帯施設整備（一式）、スロープ（13箇所）等	中央区 他3区						731		
A08-002	河川	一般	東京都	直接	-	多摩川圏域総合流域防災事業（野川）	湿地整備（300㎡）、モニタリング	小金井市						35		
A14-005	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（新河岸川）	汚泥しゅんせつ（180千m ³ ）	北区 他1区						106		
A14-006	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（隅田川）	汚泥しゅんせつ（350千m ³ ）	北区 他5区						637		
A14-007	河川	一般	江戸川区	直接	-	統合河川環境整備事業（防災船着場）	防災船着場整備（1箇所）	江戸川区						12		
A08-003	河川	一般	東京都	直接	-	荒川圏域総合流域防災事業（隅田川等防災船着場）	防災船着場整備（1箇所、付帯施設）	墨田区						140		
A14-011	河川	一般	墨田区	直接	-	統合河川環境整備事業（防災船着場）	防災船着場整備（1箇所、付帯施設）	墨田区						33		
A14-012	河川	一般	品川区	直接	-	統合河川環境整備事業（防災船着場）	防災船着場整備（2箇所、付帯施設）	品川区						108		
A14-013	河川	一般	北区	直接	-	統合河川環境整備事業（防災船着場）	防災船着場整備（1箇所、付帯施設）	北区						126		
A14-016	河川	一般	葛飾区	直接	-	統合河川環境整備事業（防災船着場）	防災船着場整備（1箇所、付帯施設）	葛飾区						42		
A14-017	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（日本橋川）	汚泥しゅんせつ（11千m ³ ）	千代田区、中央区						10	7.1	
小計（魅力的な水辺空間の創出）												1,980				
合計												1,980				

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
C14-001	河川	一般	東京都	直接	-	統合河川環境整備事業（日本橋川（外濠））	汚泥しゅんせつ（26千m ³ ）	千代田区、新宿区						185		
合計												185				

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C14-001	基幹事業（A14-017）と一体的に汚泥しゅんせつを行うことで、より一層の水質の改善が図られる														

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

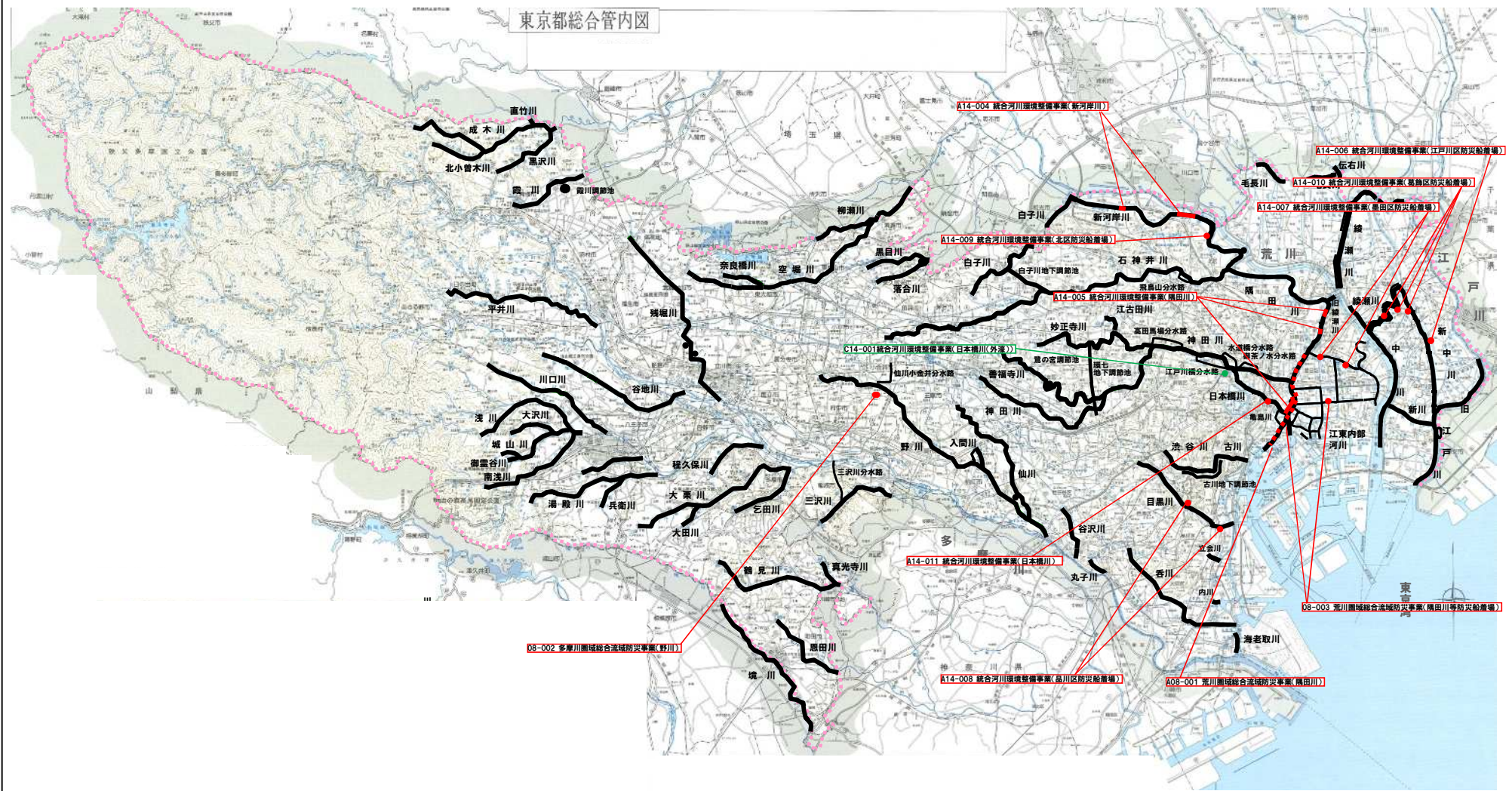
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		契約不調等により事業進捗に遅れが生じたが、事業は着実に進捗しており、良好な河川環境と都市環境の形成に寄与している。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（テラスの不連続箇所が解消された割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	契約不調等により、事業進捗に遅れが生じたが、不連続箇所の解消は着実に進んでおり、一定の効果は得られている。
		最終実績値	16%		
	指標②（豊かな自然の再生により自然や生き物に触れ合う人々の増加数）	最終目標値	600人	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成している。
		最終実績値	600人		
	指標③（汚泥除去達成率）	最終目標値	87%	目標値と実績値に差が出た要因	契約不調により、一部事業が完了できなかったが、着実に事業を推進し、一定の効果は得られている。
		最終実績値	63%		
	指標④（防潮堤や水門等災害時に防災船着場へのアクセスが可能となる人口）	最終目標値	85万人	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成している。
		最終実績値	85万人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

令和2年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業を推進し、良好な河川環境と都市環境の形成を図る。

(参考図面)

計画の名称	5 良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度	交付対象	東京都、江戸川区、墨田区、品川区、北区、葛飾区



凡 例	
A: 基幹事業	赤線 ●
B: 関連社会資本整備事業	青線 ●
C: 効果促進事業	緑線 ●
補助事業	紫線 ●
都 県 境	赤点線